

## プレ・インターンシップ体験報告

所 属 : 公共社会学科 2 年

業 種 : 婦人服卸小売業 所在地 : 北九州市

業 種 : クリーニング業・リネンサプライ業 所在地 : 田川市

期 間 : 23 年 8 月 8 日(月)~23 年 8 月 12 日(金)

期 間 : 23 年 9 月 5 日(月)~23 年 9 月 9 日(金)

私は夏季休暇中に 2 社の企業でプレ・インターンシップを体験した。まず 8 月にショップで洋服の販売業務を体験した。5 日間の中で、接客、服のお包み、検品、マネキンの着せ替え、売り上げのチェックなどを行った。販売は初めてだったので、どう接客したらよいか分からずに最初は戸惑ったが、自分の対応でお客様が商品を購入された時はとてもうれしかった。華やかなイメージの「ショップ店員」だが、実際は何時間も立ちっぱなしで 1 日目で、すでに歩くのがつらいほど足が痛くなった。



この 5 日間の体験の中で、人と接するとき大切なこととは何かを考えることができた。初めて接する人とのコミュニケーションの取り方や、空間の雰囲気作りを学んだ。

そして 9 月に入ってから田川市の企業で 5 日間事務の仕事を体験させていただいた。郵便物を整理したりパソコンにデータを打ち込んだり、初めてデスクワークを体験した。一つの作業に集中して仕事ができるのであつという間に時間が過ぎていった。また、化粧品やストッキングなどのネットショップの売り出し方について話し合う企画会議にも参加させていただいた。自分たちで考えて、それを形にする場に参加できたことは貴重な体験となった。社員さんとのお話をする場もあり、普段あまり話すことがない年齢の人たちと関わられた点も、このプレ・インターンシップの良い点だと思った。

私は将来の夢がこれと言ってない。だから、最初はどんなところに行けばいいのかもわからなかったし、あまり行く気もなかった。しかし、就業力向上支援室の方に説明を受け、いろいろなアドバイスをいただいて、今回のような経験をすることができた。実際にその職場に行ってみて、初めて自分の向き不向きが分かることもある。行く前は初めてのことで不安もあったが、今はプレ・インターンシップに参加して良かったと思っているし、親身に相談にのってくれた就業力向上支援室の方にも本当に感謝している。私のように将来がはっきりと決まっていな人にも、ぜひ参加してほしい。将来について考える良い機会になると思う。

## プレ・インターンシップ体験報告

所 属 : 看護学科 1 年

業 種 : 電気機械器具小売業 所在地 : 田川市

期 間 : 23 年 9 月 5 日(月)~23 年 9 月 9 日(金)



私がこのプレ・インターンシップを知ったきっかけは、就業力向上支援室から送信されたメールでした。小学校と中学校にインターンシップを体験したことがあり、懐かしいと思うと同時に興味を持ちました。そして、プレ・インターンシップについて就業力向上支援室に話を聞きに行きました。たくさんの企業様の中から自分が行きたい業種や職種を選択できること、また看護では体験できないことが勉強できることに魅力を感じました。

私が今回体験したのは事務の仕事です。初日は緊張で固まっていたのですが、私がお世話になった企業のみなさんは温かくて仕事も優しく教えていただいたので、体験の中で大切なことを大きく 3 つ学びました。

まず素直に受け入れて何でもやってみること。始めからやらないのと、やってみてできないのは違うということ。次に付加価値をつけるということ。同じことをやるにも相手がしてほしいことを予測して質を高めるとのこと。つまり、気付き力を養うこと。最後にプラス思考でいるということ。同じことでも考え方ひとつですべてが変わるのだ。

この 3 つは看護においても大切だし、生活を送る上でも大切なことだ。たった 5 日間しかなかったけどプレ・インターンシップは、私の視野を広くする良いきっかけとなった。看護科だから関係ないと思うのではなく、看護科だからこそ貴重な体験をしてほしいと思います。

## プレ・インターンシップ体験報告

所 属 : 公共社会学科 2 年

業 種 : 婦人服卸小売業 所在地 : 北九州市

期 間 : 23 年 9 月 5 日(月)~23 年 9 月 9 日(金)



私は、興味のある業種を希望し、これからの就職活動に役立ったらいいなと思いプレ・インターンシップに参加しました。接客業という仕事内容はどういったものなのか、お客様に対してどのような気遣いをされているのかを学びたいという目的をもち参加しました。初めての体験なので緊張と不安がありましたが、興味のある職業だったので楽しみもありました。

初日はその場の雰囲気慣れることで精一杯でしたが、緊張している私を店員さん達が優しく接してくれ笑わせてくれたので緊張と不安がなくなり体験の楽しさが増しました。そして、そこでしか体験できないことを学び、新しい知識が日に日に身に付くことを嬉しく思いました。お客様から質問されたときは焦り、その時はすぐに店員さんに頼って、その対応を学びました。少しですが、体験期間中にお客様と会話をするできるようになりました。

今回の体験で私が最も悩んだことは服装と髪型。どのようにしたら店の雰囲気に合うのかを考えることが大変でした。店員さんのスタイルは大人でオシャレに上手く着こなせていてカッコいいなと思いました。

プレ・インターンシップのように楽しく仕事を学べるのは今だけしか出来ないから、今のうちにたくさん挑戦し、自分自身の経験に繋げたいと思います。プレ・インターンシップに参加して本当に良かったです。

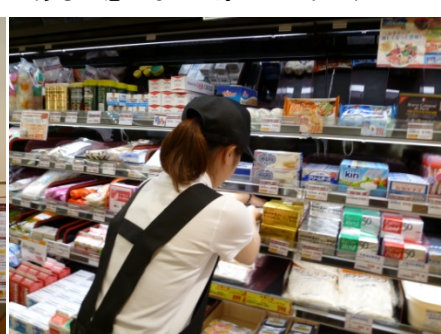
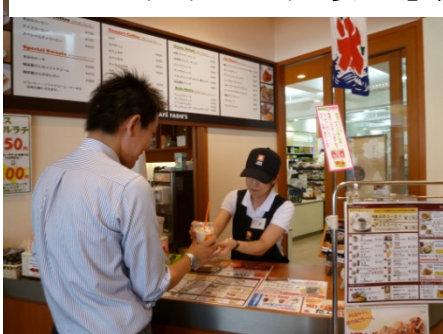
## プレ・インターンシップ体験報告

所 属 : 公共社会学科 3 年

業 種 : 食品卸小売業 所在地 : 北九州市

期 間 : 23 年 9 月 5 日(月)~23 年 9 月 9 日(金)

3 年になって就活を控えた身としては何か夏休みの間に動いとかないけないなあ…という気持ちが湧いてきてすごく焦っていたときにプレ・インターンシップの存在を知りました。プレは1・2年生対象のインターンシップという事もあって体験する内容や企業側の受け入れ態勢、3年の私が参加しても良いものかという不安がありましたが体験する機会をいただきました。私が行った企業では店舗業務を体験させていただきました。最初は、アルバイトでもなく社員でもない存在として自分は何をしていたらいいのだろう?という思いがありました。しかし、日が経ち多くの社員の人たちと話をさせていただいていく中で、与えられた仕事をこなしていく事がインターンシップの参加の意味ではない事に気付かせてもらえました。短い期間で企業に何かを覚えてもらうのではなく、何かに気付き自分のものにして行く事、与えられるのではなく自分から吸収していかなければならないということです。これは私たち学生が社会人になっていく上で大事な事で、この意識を持って帰ることが私にとってのプレ・インターンシップ参加の意味であると感じました。プレ・インターンシップに参加する事は、働く事がどういう事なのかを直に感じられる貴重な体験の場になると思います。



のかを直に感じられる貴重な体験の場になると思います。

まだプレ・インターンシップに参加していない1・2年生のみなさん、私は体験をおすすめします。

きっと得られるものがあるはずです。

## プレ・インターンシップ体験報告

所 属：社会福祉学科1年

業 種：ホテル業 所在地：京都郡

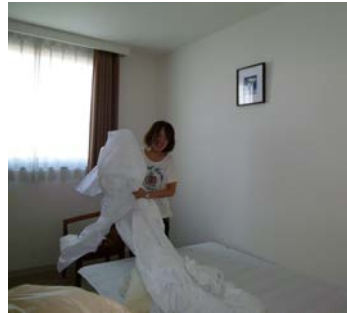
期 間：23年8月26日(金)～23年8月28日(日)

業 種：医療業 所在地：田川市

期 間：23年9月26(月)～23年9月28日(水)

プレ・インターンシップに参加してみて、その仕事を体験させてもらうということだけではなく、色々な方に出会って色々なお話を聞いたのでいい勉強になりました。

まずは、ホテル業で一番大切なことという、客室の清掃やベッドメイキングの仕方を習いました。予想以上に大変で体力勝負だと思いました。私の何倍も仕事をこなしている方々を見てすごいなと思いました。最終日は、フロント



に立ちました。自分の知らないフロントの仕事をたくさん教えてもらえて楽しかったです。

2社目は医療業を体験しました。カルテの整理や薬の容器を準備したり、薬袋に患者さんの名前を書いたりしました。患者さんが帰られるときに「お大事に～」という話し方優しくて温かい空間だと思いました。私が、医療系に興味を持ち始めたのもこの体験を通してだったので、自分の視野が広がるきっかけになりました。

今回、2社体験しましたが、どちらの職場の方々にも、すごく良くしてもらえたので緊張もすぐ解けたし、すぐになじむことができました。仕事のことだけではなく、いろんな話ができただけでも楽しかったです。

知っているつもりで知らないことがほとんどで、すごく貴重な体験をたくさんさせていただき楽しかったです。いい経験になったと思います。

## プレ・インターンシップ体験報告

所 属：社会福祉学科1年

業 種：ホテル業 所在地：京都郡

期 間：23年8月26日(金)～23年8月28日(日)

業 種：医療業 所在地：田川市

期 間：23年9月26(月)～23年9月28日(水)

プレ・インターンシップの存在は、入学してすぐに知りました。“いつかしてみたい”と思うだけで、なかなか行動に移せずにいました。そんなとき、友人からの誘いをきっかけに挑戦することにしました。受入れ先の企業は数多くあり悩みましたが、私たちの「子どもに関係するところがいいね」という会話を聞いた就業力向上支援室の坂田さんに薬局を勧められました。学生一人ひとりの意見を尊重し、希望を叶えようとしてくれる方々がいることを実感しました。

体験当日、連休明けの月曜日ということで患者さんが絶えませんでした。医療に携わる上でミスがあってはならないので全員が集中して作業をしていました。そんな忙しさの中、職場の方たちは私たちにできる仕事を与えてくれ、周りをよく見ている方たちばかりでした。2日目からは、仕事に行くのが楽しみになるほど雰囲気の良い職場でした。私もこのような職場で働きたいと思いました。

もう1社はホテル業を体験しました。お客様のことを一番に考えるが故に、厳しいこともありましたが、快く利用していただくためには従業員として必要なことだと思いました。働く期間が短かったけど、テーブルマナーや社会の常識なども学ぶことができました。

学校生活だけでは得ることができない貴重な社会経験を積み、視野が広がりました。

プレ・インターンシップに参加してよかったです。



## プレ・インターンシップ体験報告

所 属：看護学科1年

業 種：医療業 所在地：田川市

期 間：23年8月9日(火)～23年8月11日(木)

“インターンシップ”というものは大学に入る以前から知っていましたが、入学したばかりの1年生が就業体験に参加することが出来る“プレ・インターンシップ”という存在は、大学に入ってから始めて知りました。

私はアルバイトなどを今までやったことがなく、実際に社会に出て働くと言うことが全く想像出来ませんでした。

参加のきっかけは、ちょっとした用事でキャリアサポートセンターに寄った際に小松先生と出会ったことです。「プレ・インターンシップどう？やってみない？」と勧められ、プレ・インターンシップ担当の坂田さんのところへ案内されました。少しだけ興味を持っていたのですが学校に慣れ始めたばかりだし、はじめは参加しようとは思っていませんでしたが、坂田さんの分かりやすく詳しい説明や、受入れ先の職種が豊富で気になる就業場所があったので、だんだんプレ・インターンシップに参加することが楽しみになってきました。

私は調剤薬局での仕事を体験させていただきました。薬局における仕事は、やはり人の命に関わる仕事であり、かつ、プライバシーに関わる書類なども沢山あり、個人情報を守ることも大事な仕事の一つです。また、次から次に薬を受け取りにくる患者さんが訪れ、とても忙しく、タイムマネジメントをきっちり立てられる計画性の高さや、効率性の良さが必要な職場でした。体験の数日間で、働く上で最も必要なものは高いコミュニケーション力であるということ学びました。患者様と1対1で対面して言葉を交わす仕事であり、その方の体調や顔色に応じた薬がちゃんと処方されているかどうかをきちんと把握するため、コミュニケーション力はかなり重要でした。この体験で学んだことは、今後の私自身のスキルアップに繋げていきたいです。

ところで、“プレ・インターンシップ”と聞いて皆さんはどのような思いを抱くでしょうか。

私は初めこそは「むずかしそう」「大変でつまらなさそう」と思っていたのですが、実際に就業体験をしてみると、それはとても楽しく、やりがいもあり、また現場で学ぶことも沢山あります。そして、その数日間の活動で、自分自身とても成長することができたので今では「やってよかった！」と思っています。

もしも少しでもプレ・インターンシップに興味のある方は、空き時間に話だけでも聞きに就業力向上支援室に行ってみるといいかもしれません。視野が広がるきっかけになるとと思います。

## プレ・インターンシップ体験報告

所 属：公共社会学科2年

業 種：情報通信業 所在地：田川市

期 間：23年9月26日(月)～23年9月30日(金)

プレ・インターンシップを終えて、私が気を張り詰めていたこともあると思いますが、まず一番にすごい疲労感に包まれました。

私は5日間田川市の企業さんにお世話になりました。私が想像していたものより企業の雰囲気や状況は大きく違いました。今回が初めてだったこともあり、中小企業の現状をととても痛感しました。

今回のインターンシップは特に精神的に鍛えられたので、今回のことをバネに、またインターンシップの機会があったら全力で頑張りたいと思います。

